令 和 ２ 年 ３ 月 ２６ 日
国 土 交 通 省 総 合 政 策 局
情報政策課交通経済統計調査室

内航船舶輸送統計速報
（令和２年１月分）

１．概況

総輸送量は、27,432 千トン（対前年同月比 6.3%減）、13,081 百万トンキロ（対前年同月比 9.8%減）であり、大型鋼船は 17,226 千トン（対前年同月比 4.3%減）、9,398 百万トンキロ（対前年同月比 7.8%減）、小型鋼船は 8,402 千トン（対前年同月比 10.5%減）、3,416 百万トンキロ（対前年同月比 14.7%減）であった。

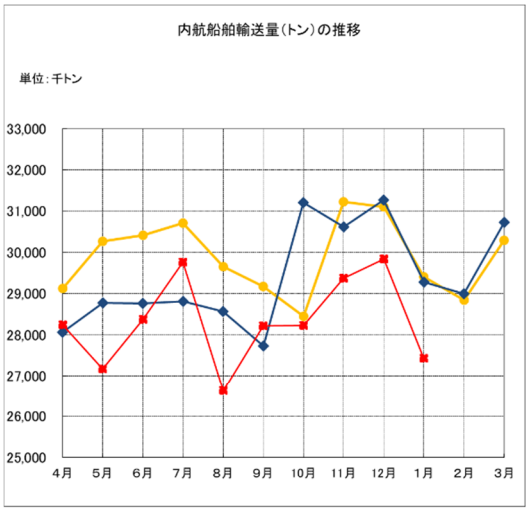
貨物船は 16,786 千トン（対前年同月比 3.0%減）、8,166 百万トンキロ（対前年同月比 7.5%減）であった。

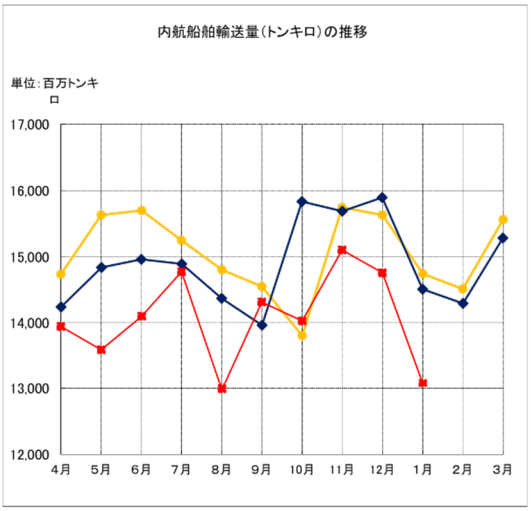
油送船は 8,842 千トン（対前年同月比 12.3%減）、4,649 百万トンキロ（対前年同月比 13.5%減）であった。

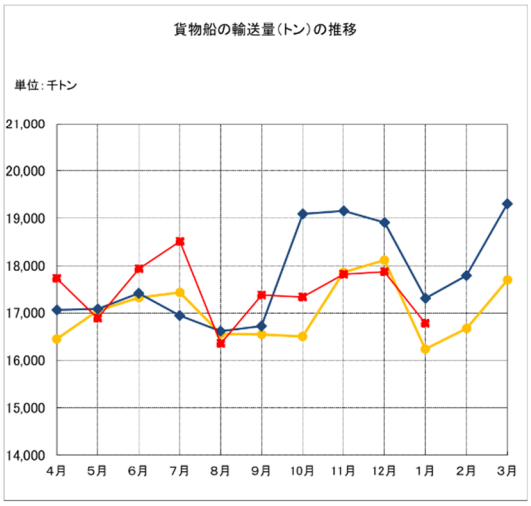
プッシャーバージ・台船は 1,804 千トン（対前年同月比 4.6%減）、266 百万トンキロ（対前年同月比 14.2%減）であった。

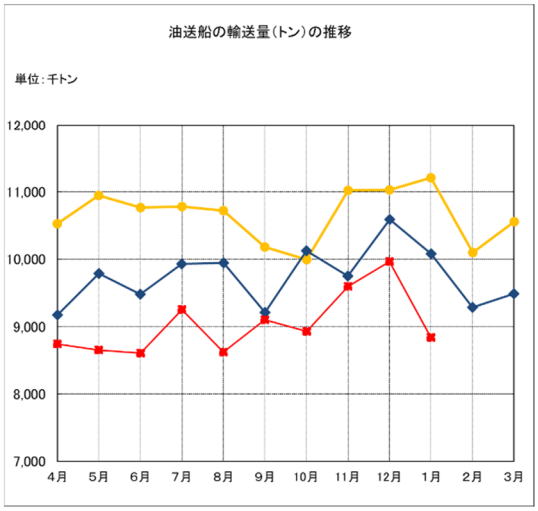
２．用途別輸送実績

項　　目	トン数（千トン）	前年同月比（%）	トンキロ（千トンキロ）	前年同月比（%）
合　　計	27,432	93.7	13,080,742	90.2
大型鋼船	17,226	95.7	9,398,151	92.2
小型鋼船	8,402	89.5	3,416,327	85.3
プッシャーバージ･台船	1,804	95.4	266,264	85.8
貨　物　船	16,786	97.0	8,165,761	92.5
油　送　船	8,842	87.7	4,648,717	86.5
プッシャーバージ・台船	1,804	95.4	266,264	85.8









凡例：平成 29 年度（2017 年度）　平成 30 年度（2018 年度）　令和元年度（2019 年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先
国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室
TEL：03-5253-8111　FAX:03-5253-1567
担当：小林（内線 28-742）、西岡（内線 28-743）